

金融・保険市場におけるトピックス

【欧州・規制動向】

○EIOPA が情報通信技術のセキュリティとガバナンスに関するガイドラインを公表

欧州保険年金監督機構（EIOPA）^(注) は 2020 年 10 月 12 日、欧州連合加盟国の監督当局向けに、保険会社が遵守すべき情報通信技術のセキュリティとガバナンスに関するガイドラインを公表した。このガイドラインは、ソルベンシー II 指令 2009/138/EC および欧州委員会委任規則 2015/356 で定められているオペレーショナルリスクに係る規制が、情報通信技術のセキュリティとガバナンスについて、どのように適用されるかを示すものである。

同ガイドラインは、保険会社・再保険会社の業務運営のデジタル化に伴うリスクに対するレジリエンスの向上を目的としており、EIOPA は、保険会社等のシステムや保険契約者等のデータを含む、デジタル資産の保護のために、このようなレジリエンスは極めて重要であるとしている。

ガイドラインの主な特徴として、以下が挙げられている。

- 保険会社等に求められる最低限の情報・サイバーセキュリティ態勢（セキュリティベースライン）の明確化
- 規制に起因する保険会社のインセンティブや保険市場のゆがみ（規制アービトラージ）の可能性の排除
- 情報通信技術・セキュリティに係る適切なリスク管理に資する、情報通信技術のセキュリティとガバナンスに関する監督上の期待・監督プロセスについての加盟国間の整合性の確保

各監督当局には、2021 年 7 月 1 日からこのガイドラインの実施が求められている。

(注) 欧州において保険・年金部門の監督を担う組織であり、金融システムの安定性、および市場の透明性等を確保するため、保険会社や保険市場等に関する規制の一貫性のある適用を目指している。

(EIOPA プレスリリース 2020.10.12 ほか)

【イギリス・規制動向】

○FCA が個人向け損害保険の保険料設定に関する市場調査報告書を公表

イギリスの金融行為規制機構（FCA）^(注) は、個人向けの住宅保険と自動車保険の保険料設定に関する市場調査の最終報告書を 2020 年 9 月に公表した。

この報告書の中で FCA は、契約者のリスクの上昇に応じた保険料の引上げとは別に、保険契約の更改の都度、徐々に保険料を引き上げる慣行（price walking）が存在していること等への懸念を示している。また FCA は、この price walking を含む不公正な慣行

により 2018 年には約 600 万人の契約者が、12 億ポンド（約 1,600 億円）の過剰な保険料を支払っていると試算している。

FCA はこのような問題に対して、市場での健全な競争を促し、すべての顧客が保険契約の公正な価値を得られるように、以下のような新たな改善措置を提案している。

- 顧客が契約を更改する際に、同一の販売チャネルでの同条件の新規顧客が支払う保険料よりも高くなるようにすること
- 保険会社に対して、すべての顧客に長期的に公正な価値を提供する方法の検討を求める、保険商品のガバナンス規則を設けること
- 規則の遵守状況確認のため、保険会社に対して特定のデータを FCA に報告することを義務付けること
- すべての損害保険商品について、自動更改の停止手続をより容易にすること

FCA はこれらの措置の実施により、顧客の負担する保険料は 10 年間で 37 億ポンド（約 5,000 億円）軽減可能であると試算している。

FCA は、2021 年 1 月 25 日までに提案に対する意見を募集し、それらの結果を踏まえて 2021 年に新たな規則を公表するとしている。

（注）イギリスにおいて銀行や保険会社等の規制・監督を担う組織の 1 つであり、消費者保護等を目的として主に事業者の金融行為に関する規制を担当している。2013 年に金融サービス機構（FSA）が分割され、FCA と、主に健全性規制を担う健全性規制機構（PRA）が創設された。

（FCA ウェブサイトほか）

【米国・規制動向】

○自動車保険料率の設定に運転関連以外の要素の使用を禁止する法案の提出

保険会社が個人向け自動車保険の保険料率を設定する際に、運転に関連のない要素を考慮に入れることを禁止する法案が、米国上院に提出された。この法案では、教育、職業、雇用形態、住宅所有状況、信用スコア^{（注1）}、性別、郵便番号、および婚姻状況などの使用が禁止されている。法案を提出した民主党の議員は、所得や教育などの要素が保険料算出に使われることにより、運転履歴が良好な低所得層の支払う保険料が必要以上に高くなっている現状を打開したいとしている。

保険業界は長い間、これらの運転に関連のない要素を考慮することは、消費者にとって適切であり、コスト削減につながると主張してきた。この法案に対し全米相互保険会社協会（NAMIC）^{（注2）}は、「今回の法案は、市場競争を弱体化させる」とコメントしている。また米国損害保険協会（APCIA）^{（注3）}は、「信用スコアの使用は、多くの消費者に有益であり、その使用が制限されれば、多くの消費者に不利益をもたらす」とコメントしている。

全米保険庁長官会議（NAIC）^{（注4）}によると、一部の州を除き、保険会社は保険料を決定するために信用スコアの使用が可能であり、自動車保険や住宅保険などの財産保険

に限定して、あくまでも保険料算出要素の1つとして使用が認められている州や、すべての保険種類において使用が認められている州がある。信用リスクを測定するデータ分析会社であるFICOによると、信用スコアの使用が法的に認められている州では、約95%の保険会社が信用スコアを保険料算出に使用している。

(注1) 信用スコアとは、クレジットカードの利用履歴や借入金額および返済履歴等のデータをもとに信用情報機関が個人の信用力を点数化したものであり、点数が大きいほど信用度が高いことを意味する。信用スコアは、もともとクレジットカード加入や個人ローンの与信判断の際に滞納や債務不履行の可能性を予測するために開発されたが、米国では1990年代以降、自動車保険および火災保険を中心に保険料算定時の重要な要素としても広く利用されるようになった。これは、信用スコアと保険金支払額との間に強い相関関係があるという統計的データに基づくものである。なお、保険料算定時に利用する信用スコアは、保険金請求の可能性を予測するためのものであるため、与信判断に利用する信用スコアとは点数を導き出す基礎となる要素や算式が異なるのが一般的である。

(注2) 主に中小相互保険会社を会員とする損害保険業界団体である。

(注3) 大手を含む広範な保険会社を会員とする損害保険業界団体である。

(注4) 米国での保険業に関する規制・監督は各州に権限があり、州によって内容が異なっている。NAICは全米各州の保険庁長官によって構成されている組織であり、モデル法やモデル規則等を策定し、各州の保険規制・監督の均質化・調和化を図っている。

(AM Best 2020.10.6 ほか)

【米国・規制動向】

ONAICが人種と保険に関する特別委員会を設置

全米保険庁長官会議 (NAIC) は2020年7月、人種と保険に関する問題を扱う特別委員会の設置を公表した。この背景としてNAICは、人種問題、保険商品の設計や保険料水準の設定に人種が及ぼす影響、および保険業界、特に経営層内のダイバーシティの向上の必要性について、NAICのメンバーやステークホルダーの間でこれまでにないほど関心が高まっていることを挙げている。

同委員会は、2020年末までに以下の取組を実施し、その結果をNAICの執行委員会に報告することを予定している。

- ① 保険業界におけるダイバーシティ&インクルージョンの状況について調査・分析する。
- ② 保険業界・保険商品における、ダイバーシティ&インクルージョンに関する問題について、広範なステークホルダーと連携する。
- ③ 有色人種や歴史的に平等に扱われてこなかった層に対して、不利な条件を課すような、保険業界内の慣行および障壁につき検討・特定する。
- ④ 以下について、NAICの執行委員会に提案する。

- ・ダイバーシティ&インクルージョンを高めるために監督当局および保険業界が講じるべき措置

- ・③で特定された慣行・障壁への対処

- ・これらの問題に関する、NAIC の他の委員会および作業部会等との連携の確保

これらに関連する動きとして、NAIC は 8 月の夏季全国大会中に、米国の保険業界における過去・現在の人種間の不平等への対応や、ダイバーシティの促進について話し合うセッションを開催したほか、9 月には NAIC 内のダイバーシティ&インクルージョンを向上させるために、専門の上級管理職（Diversity, Equity, and Inclusion Director）を採用している。

（NAIC プレスリリース 2020.7.23 および 9.17 ほか）

【シンガポール・市場動向】

○個人金融管理アプリにてマイクロ保険を販売

シンガポールの保険会社である NTUC Income は、同社が開発したマイクロ保険 SNACK を、Revolut^(注1) が提供する個人金融管理アプリを通じて販売することを 2020 年 10 月に発表した。

SNACK の特徴は、日常生活で行う様々な行動を保険料の支払のトリガーとしている点にある。例えば、電車に乗る、食品を購入するといった行動のたびに保険料（0.3 シガポールドル（約 23 円）以上で設定）が請求され、負担した保険料に応じて保険金額が積み増される^(注2)。補償内容は、死亡補償・傷害補償・疾病補償の 3 つから選択でき、最大で 20 万シガポールドル（約 1,530 万円）が保険金として支払われる。

Revolut のアプリは、取引金額の整数以下の端数を切り上げて支払を行い、端数金額を貯蓄する「Sparing Change Round Up」機能を有している。今回の提携によって、この貯蓄を保険料の支払に充当することが可能となり、保険契約者は保険料の支払方法をより幅広く選択することができる。

また、今回の提携の一環として、Revolut の利用者は、SNACK のアカウントにサインインするだけで、最大 500 シガポールドル（約 3 万 8,000 円）の補償を無料で入手することができる^(注3)。

NTUC Income は、「保険を顧客のライフスタイルにシームレスに統合するという SNACK の独自の提案は、個人金融管理アプリを提供する Revolut のビジネスモデルを補完するものである。」としている。

（注1）Revolut は 2015 年に設立されたロンドンに本社を置く世界最大のフィンテック企業の 1 つであり、世界中で 1,300 万人を超える顧客を有している。同社のアプリはシンガポールでは 2019 年に発売され、約 7 万人に利用されている。また、米国、オーストラリア、日本でも発売されており、利用者数を拡大している。

（注2）保険料を負担する都度証券が発行され、発行日から 360 日間有効となる。事故日時点で有

効な補償の合計額をもとに保険金が支払われる。

(注3) 無料で提供される補償はSNACKに登録した翌月から開始され、保険金請求は1回に限り認められる。

(Asia Insurance Review 2020.10.8 ほか)